

伊佐市立中学校再編成保護者意見交換会（曾木小校区）	
日 時	平成23年11月25日（金） 午後7時00分～午後8時30分まで
場 所	曾木小図書室
出 席 者	学校教育課長・事務局 参加者 22人
<p>○ 準備委員会の小学校のP T A代表が少ないと思う。それと制服についてこの間の市民説明会で混在を言われた。協議会の中で制服について要望してある。そのことについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備委員会の中のP T A代表については検討する。また、制服についても準備委員会の中で話し合っ決定していく。 <p>○ みんなの意見を準備委員会に持っていくことになるので出来るだけ多くのP T A代表が入るようにしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再編成の全小学校代表が一つ一つの部会に入るとなると人数が相当多くなりますので皆さんの意見が反映できるような組織作りを検討していきたい。例えば各P T Aが横断的に話が出来るような組織が必要になるかもしれない。 <p>○ 今回の案内文書で市民説明会で概ね理解をいただきましたと書いてあるが、前の説明会に行った時に、説明会を理解したかどうかのアンケートもなかったのに概ね理解をいただいたと書いてある。その概ねはどういうことなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再編成に対する反対意見は少なかったということで、教育委員会が示している再編成の方向性についてはだいたい理解をいただけたのではないかとということで、概ね理解をいただいたという言葉を使っております。 <p>○ この間の説明会で理解できましたかとか、最初は反対だったけど話を聞いて再編成しなければならぬということを理解できましたかというようなことではなかった。自分は何で今再編成しなければならぬということに納得できないことが多い。他の学校の保護者の方に聞いてもした方が良いという意見がない。自分が聞いた範囲の中では再編成したほうが良いという意見を聞いていない。このような概ね理解をいただいたというのはどうなんですかね。</p> <p>○ ある議員が中学校再編成について再考をとることを議会で質問していると聞いているんですが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会の中では議員は再編成について反対の立場を表明されています。 ・ 市民説明会で質問をいただきました。そのことについてはこの回答書のとおりです。 <p>○ 最初市民に対して再編成について問われていない。結局、教育委員会はこの形で再編成をするということしか市民は聞いていない。教育委員会は27年度に合併するんだということで話を進めてきたんじゃないんですか。最初の時は南中は大半が反対だということであったのを教育委員会はそれを押し切って進めてきたんじゃないんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再編成については協議会にまず最初に諮ってきております。 <p>○ 私たちP T Aには賛否をとっていない。私たちP T Aに再編成しますかというのをとってい</p>	

ない。もうこういう形になりましたということだったですよ。

- ・ 教育委員会は再編成について案を作りました。そしてそれを市民の代表者である協議会にはかり意見をいただきました。そしてその意見を尊重して実施計画の修正を行い市民説明会で説明してきております。
- その市民説明会で出席した人に理解ができましたかということはされていないのではないですか。納得できましたか。その説明会は決まった段階でされて説明されており、再編成のどうするのか中身をどうするのかということはされていないと思うが。説明会に出席した人は再編成に賛成とか反対とか、理解されましたかとかいう人数は出さないのか。
 - ・ それはしていない。
- ただ、説明会をしましたというだけのことで、概ね理解をいただきました反対はなかったです。と言われても私がここで一人反対しても一人だからということでされるわけですね。みんなの賛成反対の意見を取っていただいて、その結果だと私も納得できるんですが。
 - ・ 一人一人の賛成反対の意見は取っていない。
- この先も取らないということですか。
 - ・ 今のところそういうことをやる予定はありません。
- もし、私が反対の署名を取って議会に出しても良いんですか。
 - ・ そこについては教育委員会がタッチできるところではない。教育行政は再編成は必要であるという課題の元に今回の再編成を進めているところです。ただ、それに対して市民の方が反対であるので署名活動をするということに対しては教育委員会はタッチできない。署名をされるのは署名をする方の判断だと思います。
- 賛成か反対かを聞いてくださいというのは出来ないのですか。
 - ・ それについては持ち帰って上司には報告します。ただ、教育委員会が賛成か反対かを取るかどうかについてはこの場では返事は出来ない。
 - ・ 説明会の後にアンケートなり取ったかということについては取っていない。教育委員会が示している中学校再編成実施計画は、大口南中が人数が少なくなって単学級になっていくということで再編成しなければならないという教育的な観点から今回このような方向性をお示しているところです。
- 小さな学校が良いんだということで敢えて小さな学校を選んだという方もいると思う。少ない人数より多い人数が良いんだよと説明されるんですが、多いほうが良いという魅力を感じない。
 - ・ 教育委員会がこの再編成を進めるのは、子供たちにとって中学校を魅力ある中学校にして、子供たちに生きる力が養える中学校生活を送っていくことを基本に据え再編成を進めております。小さな学校になりますどうしても専科の先生方が配置できない、また、複数の教諭を配置することで子供たちが持っている能力を今以上に伸ばす教育が出来るということを考えております。
- 会長 私が協議会の代表ということで、協議会の中で私も当初計画案であると曾木小は 8 割から 9 割反対であると発言しております。そして、曾木小学校から出た意見として南中を割っての再編成については反対であるということも言ってきました。そのような中、夏の奉仕

作業の後に、協議会の現状を説明いたしました。今再編成協議会で南中が全部大口中に行く案が出ていますとこの案に対して皆さん何か質問はないですか、反対はないですかと呼びかけはしたつもりです。また、この場で反対はなくても家に帰って家族で話し合いをして反対等があれば連絡してくださいと伝えてきました。誰から一切返答はありませんでした。それで、話は進んでいったということです。

- 平成 23 年度と平成 27 年度はそんなに南中学校の人数は変わらないのに何でしなければならないのか、20 年後の人数は出ているが 27 年度以降の人数等はどうか。
- ・ 平成 23 年度の大口南中の生徒が 149 人、平成 27 年が 118 人です。平成 23 年度のクラス数が特別学級を入れて 7 クラス、平成 27 年度が同じく特別学級を入れて 5 クラスになります。また、28 年以降もこのような学級数の推移になります。学校の教員数は学級数によって決まってくる。先ほどから説明しているように中学校は専科の先生が必要です。クラス数が減ることにより先生方を配置できない状況になるということで再編成を進めているということです。
- 山野中は平成 13 年からずっと 3 クラスなんですけどどうなっているんですか。
- ・ 山野中は平成 13 年から 3 クラスです。ですので、専科教諭が配置できないところは他の先生が臨時的に免許を取得されて教えている状況です。
- それで学力が低下しているところはあるんですか。
- ・ 今のところそのような状況にはなっておりません。
- ということは南中もクラス数が減っても学力は落ちないということになると思うんですが。
- ・ 学力も 5 教科は確かに配置されておりますので落ちてはませんが、他の教科の能力を持っている子もいるかもしれません。そういうことも教育委員会としては考えていかなければならないと思っています。
- 5 教科以外の先生が学校を掛け持ちすることは出来ないのか。
- ・ 今山野中の音楽の先生は菱刈小の音楽の先生に来ていただいています。ただ、授業だけですので例えば部活動などの音楽的な部分は深めていけない状況になります。
- でも結局山野中の学力の低下は見られていないわけですよね。不便があるとかいう意見がどのくらい出ているのか、どっから出ているのか父兄からか。
- ・ 教育委員会としてこのような状況は教育の機会均等の立場から解消しなければならないと思っている。
- 教育委員会が知っているんですね。父兄が言っている訳ではないんですね。子供たちも学力が低下しているわけではない。その事実は確かですね。
- ・ はい。
- 現在、南中の数学の先生は何名いますか。2 名ですね。子供が中学校に行って話を聞けばだれだれ先生の教え方は解るけど誰先生の教え方は解らないということを言っている。そういうことを聞けば、数学担当の先生が一人のときはその先生のレベルで教えることになる。4・5 年前の南中の数学のレベルは県でもトップクラスにあった。今、落ちてきていますね。そういうことを考えると一人の先生で教えるよりも二人いることにより、もし生徒がわからない時に自分の理解できる先生に聞くことにより生徒は伸びると思います。出来れば 5 教科に

二人以上の先生がいることが望ましいとは思いますが、この再編成に反対とも賛成とも言えないんですが、そういう子供たちの話を聞けばいろいろな考えになる。体育の先生はいらっしやいますかね。

- ・ 今、南中は体育の先生はいる。山野中はいない。山野中は他の教科の先生が臨時免許を取って教えている。
- 去年は居られましたよね。
 - ・ その年年の異動で配置される教員数がどうしても小さな学校は配置教員数が決まっているので、専科の教員がいなくなる教科が出てくる。その場合他の教科の先生が臨時免許を取って教えることになる。
- 山野の若い方が後々を見込んで大口の方に家を建てるから山野の方が寂れてくるという話を聞いたんですが、合併も良かったり悪かったりですよという話を聞いている。
 - ・ 確かに今大口の方に家を建てている方はいるんですが、それは中学校が大口になるからそういう風になっているという分析は出来ていない。それが原因かどうかはわからない。
- 人数が増えたらですよ、学力が伸びるとして、ついていけない子はどうなるのか、私は人数が多い中学校を出たんですが、自分の子供に自分の出た学校に行かせたいかというところで行かせたくなくて、南中を見てこんな子になって欲しいとかあったもんで一応反対するんですが、その学力もなんですが、人数が多かったら悪いことも競い合ってくる。今こっちで聞いた悪いことは私からすればそんな悪いことではないと思われることが、人数が増えると私が出た中学校みたいに何人もそれこそ少年院に行ったり、卒業式も無かったとかそんな学校になることもある。やっぱり悪いことを競い合うですよ。大人びたことをしたいというのがあって、タバコ吸うのがかっこいいんだというのがあって、それを先生に見つかって先生と戦うことがかっこいいんだとかいうのがあるもんだから、一生懸命勉強している子だけに やっぱり先生たちもそこだけしか教えなくなるんですよ。でついていけない子はじゃそっちでついていけない子だけでしなさいと人数が多いとそうなる。いじめとかも人数がいっぱいいいたら私の時代でも先生が気づかなかつたのに、今は携帯でもっと普通の顔してる人らが虐めたりするんじゃないですか、だからそのへんも人数が増えた時には勉強もだけど人間関係も壊れて、今の南中凄く良い学校なのに、それを壊して人数を増やして再編成をしようというのは反対であって、ただ、人数が増えて勉強だけが伸びるというわけではなく悪いことも伸びるし、また、ついていけない子をどうするのかとかも決めて貰わないと、いくらその学科の先生が来ても学科の先生が全部受け持つわけでもないし、そのついていけない子ばかり関われないだろうし、人数が増えた時はその辺は覚悟決めなければと思うんですが、南中の子供とか見てて、私の感じはこんなふうになって欲しいというのが強いので、大きくなることに不安があるんですが。
 - ・ 今言われたことは良くわかります。ただ、単に人数が増えたから壊れるのかということもあると思います。今回の再編成する学校規模は1学年150名前後の学校になります。また、学校が大きいからいじめがあるとか小さいから無いとかいう事ではないと思います。確かに今の南中は非常に良い学校です。それは保護者の方々や先生たちの努力により築かれたものがあります。今回再編成する学校もそのような学校を教育委員会は目指しております。

- 教育委員会として再編成に向けてどのような学校を作っていけばいいのかというのを話を進めております。その中で、今山野中が良いまた南中も良いということですが、ただ、全ての中学校がそうじゃないということも事実です。ですので、この再編を一つの機会として、準備委員会で良い学校を作るには、南中の良い所、山野中の良い所を入れながら準備の中でそれぞれの中学校が再編成する前から揃えていきながら、ここをこうやって変えていこうといながらしていくというのを話し合いをしているところです。教育委員会としましては学力もありますけれども再編成で一つの新しい中学校を作るんだという所からそれをきっかけにして良い学校を作るんだということ、それを準備委員会で話し合いをしていくということを協議している所です。